

2年

秋の子ども読書の日

● 読み聞かせボランティアさんより／絵本読み聞かせ（1時間）

「川があふれた！まちが沈んだ日」 ～生きる力をくれたきじ馬くん～

ねらい：被災地を舞台とした絵本を見て聞く中で、災害に対する理解を促し、自分の命を守るためにできることを考え、郷土への愛着を深めながら、災害に立ち向かおうとする態度を育てる。

川があふれたら・・・



いつもは、穏やかで豊かな球磨川が、変貌する様子を絵本を聞くことを通して知りました。

台風がやってきたら・・・



絵本の主人公と自分を重ねながら、一緒に台風や地震について考えていきました。

災害とは何かを知る（1時間）

秋の子ども読書の日／絵本読み聞かせ

「川があふれた！まちが沈んだ日」～生きる力をくれたきじ馬くん～

令和2年7月に起きた熊本豪雨災害で被災したレストラン「ひまわり亭」にあったきじ馬を主人公にした物語を「読み聞かせボランティアブルービー」さんが読んでくださいました。当時の球磨川の氾濫する様子やまちの様子、被災した人々の悲しさなどきじ馬くんの視点で物語は語られました。絵本の中で、どんなにつらい中でも、人々が互いに助け合いながら復旧に尽力する姿やきじ馬くんが傷を負いながらも生き抜いてまちの人たちを励ましたことなどを知りました。

物語からも球磨川は、怖い川でなく、これまでも人々に愛され、生活に欠かせないものであることやこれからも自然と共存していくために災害に備えることが大切なことを絵本を通して考えることができました。

他学年 防災に関する絵本の読み聞かせ（1時間）

1年生

- 「たいふうがやってきた」紙芝居
- 「地震がきたらどうする？」紙芝居
- 「かぜのでんわ」絵本
- 「しょうぼう はじまりの物語」絵本

秋の子ども読書の日にたくさんの絵本の読み聞かせや紙芝居がありました。

今年は、防災に関する絵本も読んでいただきました。絵本のお話を聞く中で、自分と重ねて考える姿が見られました。

たくさんの本を準備してくださった 絵本の読み聞かせボランティア「ブルービー」さん、どうもありがとうございました。